C—85　　衣服設計におけるダーツの一考察

椙山女学園大家政　土井サケヨ　○安田盈子

目的

適合度の高い衣服を設計するには、ゆとり量とダーツの位置、および配分量が適切でなければならない。今回はダーツの位置および配分量を形態的因子を基準に検討することを目的とした。

方法

スライディングゲージを用いて胸囲位、胴囲位、腹囲位、腰囲位における横断形態を採集した。さらに横矢示数の増大に伴って変化する形態とダーツの位置との関連を検討した。

結果

上半身の前面においては乳頭間を、後面においては肩甲骨間を、左右側面においては腕付根矢状径を基準の面として設定した。その転換点位置にダーツを設定することが妥当である。